

【 2024 年度 事業 報告 】

自 2024 年 4 月 1 日

至 2025 年 3 月 31 日

◇ 概要

2024 年の日本経済は、一時停滞感が強まったものの、緩やかな回復基調を維持しました。3 月にはマイナス金利が解除され、日経平均株価は史上最高値を更新。公示地価や春闘賃上げ率も高い伸びを示し、デフレ脱却への兆しが見られました。一方で、海外経済の減速や物価上昇による消費への影響に加え、トランプ大統領による関税政策等の影響など、懸念材料も残りました。

2024 年度、自動車・電子部品産業の技術革新は、めっき産業に顕著な経済的影響を与えました。EV シフトに伴う軽量化需要は、高機能めっき市場を拡大させ、特にアルミ・マグネシウム合金向けめっき技術の需要を創出しました。また、自動運転技術の高度化は、センサー部品の高精度めっき需要を増加させました。電子部品分野では、5G・IoT・AI 普及が微細・高密度めっき市場を牽引し、半導体向け高精度めっきの需要を押し上げました。これらの動向は、めっき産業における技術開発投資を促進し、高付加価値製品の市場投入を加速させました。一方で、環境規制の強化は、めっき産業に新たな設備投資を促し、コスト増加要因となっています。

シアン製品の国内生産中止発表、EU における PFAS 製造制限検討など取り巻く環境は厳しさを増しています。日本表面処理機材工業会（以下、機材工と称す）の会員企業は、極端な部材や原材料の不足は解消されましたが、高止まりした企業物価や人件費や輸送費の高騰により収益は圧迫されています。販売面ではめっき向けは前年比減となっており、2024 年初の自動車試験不正による減産、電子回路基板の生産低迷の影響を受けたと思われます。

機材工は、新設された省力化投資補助金制度でいち早く蛍光 X 線膜厚測定器のカテゴリ登録を行いました。

事業活動は定時総会、理事会、委員会は基本的に対面で行い、効率性を考慮してオンラインでの開催が適宜行われました。表面処理団体協議会は、2024 年産官学情報交換会を「表面処理業界における環境対応への取り組み」と題して 11 月にオンライン配信も併用して行いました。表面処理資機材生産・販売統計調査検討会、経営研修会、三部会交流会は対面で開催し、会員同士の有意義な交流の場を持つことができました。SURTECH 2025（1 月 29 日～31 日；東京ビックサイト東 3 ホール）では前年度並みの来場者があり、コンセプトゾーン内での小規模展示及び講演会の実施など、新たな取り組みによって活況を呈し、次年度へ引き続き期待を抱かせる状況となりました。

◇ 委員会・部会活動

- ・ 理事会を 6 回開催し、表面処理団体協議会、経営研修会、SURTECH2025 及び関連する事業、三部会交流会などの主要事業の実施計画を審議し目的の達成に寄与した。

委員会の主要な活動は以下の通りであった。

- ・ 総務委員会を 6 回開催した。各部会と共同で表面処理資機材の生産・販売動向を調査し、調査内容を統計検討会で発表し機材工誌 2024 年秋季号に掲載した。11 月に経営研修会を開催し愛知淑徳大学名誉教授、嘉悦大学副学長 真田幸光氏に「世界情勢と日本～苦境に立つ日本経済と経済再生への道～」との演題で講演いただき、2025 年冬季号に開催内容を報告した。3 月に三部会交流会を設備部会、薬品部会、環境部会と共同で行い、ジュリアン・ベイショア氏（ボド・メラール・ケミー・ジャパン株式会社 代表取締役社長）の講演と懇親会を行い、機材工誌 2025 年春季号で報告した。
- ・ 技術委員会を 5 回開催した。10 月に青年会と共同で産総研 つくばセンター中央事業所東地区の製造技術部門を 11 名が訪問しめっきに関する技術の動向について見学と討議を行い、機材工誌 2025 年冬季号に報告した。SURTECH2025 と同時開催の「新製品・新技術発表講演大会（2025 年 1 月 29 日）」では、8 件の講演をサーテック・セミナー会場で行い、68 名が受講した。
- ・ 環境対策委員会を 7 回開催した。SURTECH 2025 と同時開催の「環境セミナー（2025 年 1 月 30 日）」は会議棟 101 会議室で行い、9 名が受講した。
- ・ 国際委員会は開催されなかった。海外視察は次年度に持ち越された。
- ・ 情報委員会を 6 回開催した。技術手帳の製作販売（5,850 冊）と機材工誌を年 4 回発行した。SURTECH 2025 ではコンセプトゾーンで機材工の取り組みをパネルとモニターを用いて展示した。コンセプトゾーン内に機材工会員出展ブースを設け 5 社 10 ブースの出展があった。初めての取り組みとして、「めっき基礎・入門講座（2025 年 1 月 30 日）」を東 3 主催者事務室にて行い、68 名の受講者があった。
- ・ 青年会を 3 回開催した。SURTECH 2025 と同時開催の「なぜなぜシリーズ第 18 弾（2025 年 2 月 1 日）」は会議棟 101 会議室で 5 件の講演を行い 26 名の受講者があった。研修会はワールドケミカル筑波工場を（2025 年 3 月 6 日）に 10 名の参加者で行い、機材工誌 2025 年春季号で報告した。

部会の主な活動は以下の通りであった。

- ・ 設備部会は、販売統計調査を 6 月から開始し、8 月に中間報告としてまとめ、9 月の販売動態検討会で報告した。部会を 8 月及び 3 月三部会交流会の 2 回行った。生産性向上要件証明書の認証及び省力化投資補助金製品カタログ審査に協力した。
- ・ 薬品部会は、薬品統計調査分科会を 7 月に行った。8 月に薬品部会を行い、(1) 令和 5 年度薬品生産動態集計結果、(2) 同部会収支決算報告、(3) 各委員会報告 (4) 各社各人情報交換会を行った。3 月の三部会交流会では幹事部会として、委員会の状況報告、近況報告を行い、三部会講演会の企画を行った。
- ・ 環境部会は、例会を 8 月と 3 月に対面で開催した。第 1 回例会では、環境設備動態調査と理事会及び環境対策委員会の活動について報告した。第 2 回例会は、2024 年活動報告、2025 年事業計画、SURTECH2025 の報告と共有を行った。

◇ 表面処理団体協議会

- ・ 表団協 第 76 回運営委員会（2024 年 4 月 30 日（火） 13 時 30 分～15 時 00 分；ハイブリッド）
出席：全鍍連 4 名、表面技術協会 4 名、機材工 4 名

議 題：第 75 回運営委員会 議事録承認の件、官学合同情報交換会 実施結果の件、32 回表団協セミナー 実施結果、和 5 年度表団協決算報告

・表団協 第 77 回運営委員会（2024 年 6 月 21 日（金）15 時 00 分～16 時 30 分；ハイブリッド）
出 席：機材工 4 名、表面技術協会 4 名、全国鍍金工業組合連合会 3 名

議 題：2024 年度事業計画について

・表団協 第 41 回代表者会議（2024 年 7 月 31 日（金）15 時 30 分～16 時 50 分；プレマビル会議室）

出 席：機材工 5 名、表面技術協会 5 名、全国鍍金工業組合連合会 4 名

議 題：2023 年度事業報告について、第 40 回代表者会議（2023 年 7 月 24 日）議事録の承認、産官学情報交換会（2023 年 11 月 16 日）の振り返り、表団協セミナー（2024 年 2 月 2 日）の振り返り、表団協の資産状況、2024 年度事業計画について、産官学合同情報交換会について、表団協セミナーについて、ISO/TC107 第 36 回総会の日本開催への協賛および協賛金の拠出について、インボイス制度への対応について、中小企業省力化投資補助金制度について

・2024 年産官学情報交換会（2024 年 11 月 12 日（火）15 時 00 分～17 時 00 分；ハイブリッド）

出 席：プレマビル...経済産業省 3 名、機材工 4 名、表面技術協会 2 名、全鍍連 4 名

オンライン...機材工 10 名、表面技術協会 44 名、全鍍連 49 名

議 題：「表面処理業界における環境対応への取り組み」

開会の挨拶 表面処理団体協議会 運営委員長 全鍍連 専務理事 長谷 尚武

基調講演 「中小企業を巡る GX の動向について」

経済産業省 GX グループ GX 推進企画室 室長補佐 永井 健寛

全国鍍金工業組合連合会 「めっき事業所の抱える環境規制強化への取組」

一般社団法人 表面技術協会 「様々な排水における窒素等の回収」

産業技術総合研究所 Parajuli Durga パラジュリ ドゥルガ

一般社団法人 日本表面処理機材工業会 「今後の環境規制への取り組み状況」

閉会の挨拶

表面処理団体協議会 運営委員長 全鍍連 専務理事 長谷 尚武

◇ 表面処理資機材 2023 年度 生産・販売統計調査検討会

日 時：2024 年 9 月 19 日（木）13 時 30 分 ～ 15 時 30 分

場 所：プレマビル 4 階会議室

出 席：設備部会 3 名、薬品部会 2 名、環境部会 3 名、総務委員会 3 名 計 11 名

議 題：

1. 設備部会（電源と表面処理設備に分けて集計）

・電源は 4 社から回答があり、めっき用電源・陽極酸化用電源、電着塗装用電源に分けて集計した。

・分類別で、めっき用電源の販売台数は対前年比 90%、販売金額は対前年比 91%であり、構成別では 100A～500A 未満の電源は対前年比 103%で堅調に推移した。

・電着塗装用電源は、500A 以～2000A 未満が対前年比 420%となった。

・表面処理設備は 18 社から回答があった。販売金額は合計で対前年比 93%、分類別では処理装置が

対前年比 58%、付属機器が対前年比 117%、付属設備が対前年比 224%、工事等が対前年比 125%であった。

・半導体不足のような部品調達による納期のずれ込みはだいぶ解消されているが、注文残は相変わらずの状態である。

2. 薬品部会

・22社から回答があった。総生産数量は対前年比 94%であった。
・販売数量の減少には、輸送用機械関係の火災やシステム障害による工場稼働停止、認証取得の不正問題による生産停止が影響している。

・国内販売は減少したが輸出販売数量は円安の影響もあって増加した。
・生産数量の増加した薬品は、貴金属めっき用剤が対前年比 247%、半田めっき用剤 137%であった。
・生産数量の減少した薬品は、前処理剤 82%、めっき剥離剤 88%、化学銅めっき用剤 89%、青化亜鉛めっき光沢剤 89%であった。

3. 環境部会

・7社から回答があった。表面処理分野の販売金額は対前年比 63%であったが、これは前年が突出したため対一昨年比では 154%であった。

・表面処理分野の業種別の件数では、電子・電気機械分野が対前年比 151%、一般機械工業が対前年比 155%であった。

・環境設備全体の件数を地域別にみると九州地区が対前年比 164%と多かった。

4. 生産・販売統計調査検討会の内容は、機材工誌 2024 年秋季記号で報告された。

◇ SURTECH2025

・機材工展示

特別企画コンセプトゾーン内で、4小間を使用して、機材工紹介ビデオのプレゼンを行い。手持ちのパネルを貼って機材工の活動を紹介した。

・機材工ミニブース

特別企画コンセプトゾーン内で、全鍍連ミニブースと隣接して出展企画を行った。日本フィルター、ワールドケミカル、野坂電機、タイホー、ユミコアジャパンから 5社 10小間の出展があった。

・講演会

技術委員会主催「表面処理 新製品・新技術講演会」 受講費：無料 テキスト 1,000円(税込)

日 時：2025年1月29日(水) 10時40分～13時30分

会 場：東京ビッグサイト 東3ホール サーテック・セミナー会場

講 演：8講演 受講者：68名

10:40～10:50 開会挨拶

10:50～11:10 Fフリー界面活性剤を用いた Ni-P/PTFE 複合めっき

上村工業株式会社 中寺 健斗

- 11:10～11:30 無電解 Ni-P/PTFE 複合めっき技術と PFAS 規制への動向
奥野製薬工業株式会社 齋藤 竜司
- 11:30～11:50 PTFE 複合めっきに代わる低摩擦係数複合めっき
日本化学産業株式会社 三嶋 恵太
- 11:50～12:10 カーボンニュートラル実現に向けた めっき工程の取組み
～洗浄剤・パクナ CN シリーズのご紹介～ ユケン工業株式会社 辻 匡佑
- 12:10～12:30 ステンレス向け表面処理薬品のご紹介 株式会社タイホー 池田 卓也
- 12:30～12:50 排水処理場のスペースを大幅削減！インライン式排水処理装置 「U-Flex」
日本フィルター株式会社 齋藤 弘樹
- 12:50～13:10 水処理におけるリサイクルについて 伸栄化学産業株式会社 小助川卓也
- 13:10～13:30 めっき厚さ測定器 TH-12 株式会社中央製作所 音羽 伸哉

情報委員会主催「めっき基礎・入門講座」 受講費：無料

日 時：2025年1月30日（木）10時30分～12時20分

会 場：東京ビッグサイト 東3主催者事務室

講 義：ココからはじめる めっき／日刊工業新聞社

講 師：望月 一雄 専門家：野坂 秀夫、西城 信吾 受講者：68名（名刺による受付）

- 第1章 さア、めっきを始めよう 第2章 前処理 第3章 水洗
第4章 素材別の前処理 第5章 めっきの実際 第6章 めっきの生産方法

環境対策委員会主催「環境セミナー」 受講費：5,000円

日 時：2025年1月30日（木）13時30分～16時30分

会 場：東京ビッグサイト 会議棟1F101会議室

講 演：5講演 受講者：9名

「化管法の概要・排水処理技術の実際・海外環境規制動向」

13:30～13:40 開会の挨拶

13:40～14:20 「化管法の概要」 経済産業省化学物質管理課 課長補佐 神取 勉

14:25～15:55 「排水処理技術の実際」

①亜鉛の排水処理 日本フィルター株式会社 宮川 貴宏

②フッ素・ホウ素の排水処理 日本ワコン株式会社 清水 健

③窒素・リンの排水処理 中川化学装置株式会社 倉持 貴之

16:00～16:30 「海外環境規制」ベトナム、タイ、フィリピンの環境規制

クボタ環境エンジニアリング株式会社 渡辺 茉美

青年会主催「なぜなぜ講演会第18弾」 受講費：8,000円（2人目から7,000円）

日 時：2025年1月31日（金）12時55分～16時50分

会 場：東京ビッグサイト会議棟1階101会議室

講 演：5講演 受講者：26名

12:55～13:00 開会挨拶

13:00～13:40	めっき薬品のなぜ	奥野製薬工業株式会社	原 健二
13:40～14:20	めっき設備のなぜ	上村工業株式会社	木村龍太郎
14:20～15:00	めっき電源のなぜ	株式会社三社電機製作所	山田 耕三
15:10～15:50	排水処理のなぜ	日本フィルター株式会社	松場 竜作
15:50～16:50	ハルセル試験のなぜ	株式会社山本鍍金試験器	秋山 勝徳

◇ 経済産業省委託事業

生産性向上要件証明書 2024年度審査発行数

固定資産	設備部会	環境部会	合計
機械・装置	15 件	1 件	16 件
器具・備品	6 件	0 件	6 件
工具	1 件	0 件	1 件
合計	22 件	1 件	23 件

中小企業投資補助金 2024年度に審査発行数

分類	件名	件数
カテゴリ登録	蛍光 X 線膜厚測定器	1 件
カタログ登録	蛍光 X 線膜厚測定器 日本電子製 JSX-1000S	1 件

◇ 国内関連団体との交流

愛知県鍍金工業組合通常総会懇親会出席（2024年5月10日）

全国鍍金工業組合連合会通常総会懇親会（2024年5月29日）

奥野製薬工業株式会社創業120周年記念オクノテクノフォーラム出席（2024年9月6日）

全鍍連第62回全国大会（2024年11月26日）

日本鍍金材料協同組合恒例新年会（2025年1月8日）

経済産業省金属課、全鍍連事務局新年年始挨拶（2025年1月17日）

名鍍会定時総会出席（2025年1月18日）

全鍍連賀詞交歓会出席（2025年1月24日）

東京都鍍金工業組合新年賀詞交歓会（2025年1月30日）